

- 震災から11年余りが経過し、葛尾村及び大熊町の特定復興再生拠点区域において、居住に向けた避難指示の解除が実現するとともに、双葉町の拠点区域においても避難指示の解除が予定されるなど、本県の復興は着実に前進。
- 一方、ALPS処理水の問題も含め、複合災害に伴う多くの困難な課題に直面しており、中長期的な取組が不可欠。
- 第2期復興・創生期間の折り返し地点を迎える令和5年度においても、本県の復興・再生を国・市町村と一体となって進めるため、特に以下の点について訴えていく必要がある。

## 《 現状 ・ 課題 》

### ➤ ALPS処理水の処分に係る基本方針の着実な実行に向けた行動計画の策定 (R3.12)

⇒ 福島県だけでなく、日本全体の問題であることから、国が前面に立ち、これまで県民が積み重ねてきた努力が水泡に帰すことのないよう、行動計画に基づき政府一丸となって万全な対策を講じる必要

### ➤ 福島復興再生特別措置法関連

- 福島復興再生特別措置法の一部改正 (R4.5)
  - ・新産業創出等研究開発基本計画の策定
  - ・福島国際研究教育機構の設立

### ➤ 避難地域・被災者関連

- 特定復興再生拠点区域外への帰還・居住に向けた避難指示解除に関する考え方の決定 (R3.8)
- 特定復興再生拠点区域の避難指示解除
  - ・葛尾村 (R4.6.12) ・大熊町 (R4.6.30)
  - ・双葉町 (R4.8.30予定)
- 避難者数の推移
  - ・164,865人 (H24.5) ⇒ 30,231人 (R4.5)
- 大熊インキュベーションセンター開所 (R4.7)
- 南相馬市立総合病院附属小高診療所開所(R3.12)

### ➤ 風評・風化対策関連

- 県産農産物の輸出実績が過去最高を更新
- 県産農林水産物等の輸入規制を行う国・地域
  - ・55 ⇒ 12へ縮小 (R4.7)
- 全国新酒鑑評会 9回連続日本一(R4.5)

### ➤ 福島イノベーション・コースト構想関連

- World Robot Summit 福島大会開催 (R3.10)
- 福島県再生可能エネルギー推進ビジョン2021策定 (R3.12)
- 福島国際研究教育機構基本構想の決定 (R4.3)

### ➤ インフラ等環境整備関連

- 県内被災10漁港復旧完了 (R3.11)
- 小名浜港国際バルク・ターミナル全面供用開始 (R4.6)



## 《 特に訴えるべき視点 》

### 1. 避難地域の復興・再生

- ⇒ 移住・定住の促進、交流・関係人口の拡大等に向けた支援
- ⇒ 事業・生業の再生、営農再開に向けた支援、教育環境の整備・充実
- ⇒ 保健・医療、福祉・介護サービス提供体制の再構築
- ⇒ 帰還困難区域の復興・再生

### 2. 風評払拭・風化防止対策の強化

- ⇒ ALPS処理水の処分に係る行動計画に基づく政府一丸となった対応
- ⇒ 正確な情報発信・幅広い業種に対する万全な風評対策
- ⇒ 農林水産物の安全確保と風評対策、産地競争力の強化
- ⇒ 国内外からの誘客促進等の取組に対する支援

### 3. 福島イノベーション・コースト構想の推進

- ⇒ 福島国際研究教育機構の具現化
- ⇒ 研究開発の推進・産業集積促進、構想を支える教育・人材育成
- ⇒ 浜通り地域等への交流人口・消費の拡大及び生活環境の整備促進
- ⇒ 拠点の運営への支援、福島イノベーション・コースト構想推進機構への支援

### 4. 新産業の創出及び地域産業の再生

- ⇒ 再生可能エネルギー先駆けの地及び福島新工ネ社会構想の実現
- ⇒ 医療・航空宇宙・ロボット関連産業等の集積と産業の再生に向けた支援
- ⇒ 農林水産物の再生に向けた支援

### 5. 復興を支えるインフラ等の環境整備

- ⇒ 社会資本の整備に係る予算確保
- ⇒ 放射性物質対策の確実な実施
- ⇒ 中間貯蔵施設・特定廃棄物埋立処分施設等への対応